

宮川	開津	会津坂下町金上 開津	昭和一〇・五・九	一八三・八七三			
〃	坂下	会津坂下町川前 鶴沼橋	昭和一〇・一・二〇〇 〃一・三・三・二〇〇	一七六・三九四			
日橋川	塩川	塩川町	大正三・五・一				大正一〇・一〇・ 二〇廃止
濁川	濁川	塩川町大田木田原	昭和九・一二・一三 〃一〇・六	一七三・〇			
日橋川	十六橋	河東村十六橋	昭和一三・三	五一二・三七四	昭和一・二七 昭和一六年	八三二・七	
阿賀川	玉路	本郷町玉路	昭和二七・一	二六三・〇〇	昭和四・一五 昭和二八年	八八〇・〇	福島県自記
〃	田島			五四〇・〇〇			
〃	山崎			一六六・〇〇	昭和五・四四 昭和一六年	二七四・一九	昭和二七・三廃止
〃	小谷	本郷町玉路南川前	大正一四・一	二七九・〇〇			新潟大川発電所

3、雨量と洪水の関係 仙台管区気象台の東北地方大雨日量分布帖というのを拾ってみると、東北地方の最大

雨量季節は四月五日頃から十月七日頃までで、大変幅広く、これは一年の半分は大雨警戒期間ということになる
 洪水記録は、紀元六〇〇年から現在まで一三〇〇年程の通計では、勿論古い記録は正確なものでなく、大陰月の換算も困難なもので、洪水の程度の不明なものなどあるが、大洪水は六月三日頃から十月十五日頃まで、その期間はやや短い。これは実態としては、大変おかしいように見える。洪水は必ず降雨の絶対多量によっておこるものなのに、最大雨量季節より、洪水期間が短い筈はない。それでこれを吟味してみると、一日の最大雨量の局部的なものが、必ずしも大洪水をひきおこすものでない。次に東北地方の最大雨量の季節と、その一隅である会